

令和2年度の「葵ゼミ」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う臨時休校により、年度当初から計画どおりに進めることができませんでした。しかし、夏季休業の短縮による授業日の確保、外部機関との連携促進等により、今のところ前年度以上の成果を上げつつあります。

そのような中、本校の課題探究活動「葵ゼミ」の教育プログラムが、「三菱みらい育成財団」の助成事業に採択されました。「三菱みらい育成財団」は未来を担う子供・若者の育成を目指す教育活動への助成と活動成果を高めるための支援・ネットワークづくり等を行っている一般財団法人です。自ら目標とする生き方を考え・見出し、その目標に向けて歩み続ける原動力を習得するプログラム（心のエンジンを駆動させるプログラム）部門の選考により採択の連絡を受けました。これは今までの「葵ゼミ」の取組が高く評価され、全国的に見ても高いレベルであることが認められた結果です。今後、最大3年間にわたり、「葵ゼミ」に必要な経費として助成金を活用しながら、生徒の探究活動をより充実させることができるようになりました。

「葵ゼミ」の目標は、葵高生の一人一人が「葵ゼミ」で身につけた知識とスキルを活用し、自分の人生を自らの意志で選択し主体的に生きていくことができるようにすることです。そのための資質や能力の育成を目指しています。「三菱みらい育成財団」の助成を受けて、本年度「葵ゼミ」の教育プログラムとしての重点事業は次のとおりです。

(1) 会津若松市役所や地域施設事業所との連携

これまでも会津若松市役所などの出前講座の実施や取材訪問等によって地域との連携を推進してきました。地域課題への対応をとおして社会への視野を広げさせるため、引き続き市役所等と積極的に連携し、地域の人材や資源を活用して教育環境の整備を一層充実させたいと考えています。

(2) 大学や関係法人等との連携

探究スキル（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を身につけさせ、試行錯誤しながら課題を解決する経験を積ませるため、大学や関係法人等と連携し、個に応じたきめ細かな指導を行いたいと考えています。また、さまざまな探究活動プロジェクトに参加させることにより、外部との交流を促すとともに活動の発信をしたいと考えています。

(3) 課題探究活動「葵ゼミ」発表会の充実

2年間の成果を発表する課題探究活動「葵ゼミ」発表会では、各県立学校や近隣の小・中学校など教育関係に広報し、来校者を迎えて実施します。また、「葵ゼミ」の成果をまとめたレポート集を発行して、県立学校、会津地区小・中学校、市役所各課、

生徒の活動で関わられた事業所等関係者に広く配布します。このことによって生徒同士が探究活動の意義や内容について学ぶとともに、地域に開かれた教育課程の実現を目指します。

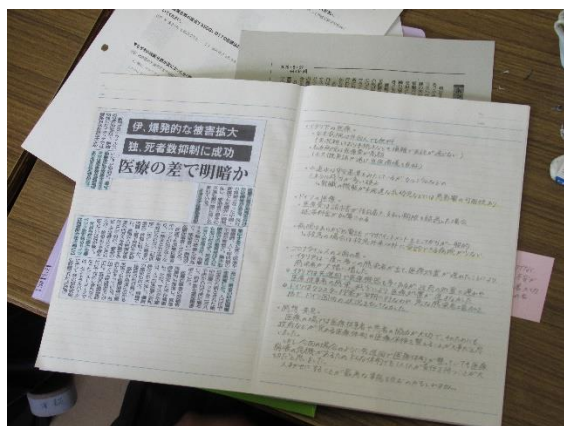
(4) 教職員の指導力の向上

「私の選択には、意志がある。」のスローガンのもと、自己実現に向けた生徒の主体性を学校全体で育てよう「育てたい資質・能力」を教師間で共有し、ルーブリック「葵高生が身につけたい10のチカラ」を活用して、カリキュラム・マネジメントを推進する体制を整えます。また、本校教員の先進校視察や研究会参加などの校外研修、校内における授業公開や外部講師による講演会などの研修を充実させて、教職員の指導力の向上を図っていきます。

これらの重点事業によって得られる「葵ゼミ」の成果は次のように考えています。

- (1) 「葵ゼミ」で向き合ったテーマを追求するという観点から、自ら進んで進路選択をして大学へ進学するなど、主体的に生きようとする生徒が増える。
- (2) 地域との連携をさらに進めることにより、生徒の地域貢献への意識を高めるとともに、学びに対する価値観を芽生えさせ、学んだことを人生や社会に生かそうとする主体的な生徒が増える。
- (3) 地域との連携をとおして、地域と学校が生徒の学びについて同じ価値観を持つことや、学びの実現の視点を互いに持つことで、教育内容や意義を共有し、生徒を地域とともに育てる環境づくりができる。

東日本大震災以来、人口減少、環境問題等に加え、新型コロナウイルス感染症への対応により地域の課題は複雑化しています。これらの課題に向き合い地域と共に生きる生徒の資質・能力の育成を目指して、これまでの実践をさらに充実したものにしたいと考えております。



新聞記事に自分の考えをまとめた「自分ノート」



グループで「自分ノート」を発表し合う